

名前：

インターネットが世界中で使えるようにな
って、人々の生活にまた大きな変化が
おこるようになりました。その一つの変化に
インターネット新聞があります。インターネ
ット新聞はさまざまな便利性をもちていま
すが、パソコンがなければ、またインターネ
ットがなければどこにでも、だれでも利用するこ
とができるのです。また、誰でも読めるとい
う点もいいところです。このようにじょうほう
がはやい、くどくど広がることによつて時代は
じょうほう化して行きます。しかし、このよう
な便利さをもつていながらもいろいろの問題
が発生します。興味をもつて新聞を読めば
いいのですが、自分がせんとくしたものを
読みます。だからふかいじしきではなく、せ
まいじしきだけをえさかくりつが高いです。
また、インターネット新聞の記事は誰にでも
簡単に見ることができると、悪利用される
ことが多くなります。たとえばじじつではないも
のをまるで本当のことのよさにしくむことが

できたりし、人々はその利便性を無視してしま
う恐れがあることが多くなります。
しかし、これを見ると、インターネット新聞がい
かにその利便性より利便性があふれていると思
います。インターネット新聞は弱点があつて
いますが、その弱点は越えられようと思ひます。
インターネット化する今の時代のなかにはもうと
めづめるのは不可能です。ならばそのインターネ
ットのかんりをもつて、これによってすること
で悪利用をせんとし、また、インターネット新
聞の記事にもふつうの新聞よりふかいじょう
ほうをこめ、きょうみをやうはつとせよう
にするのです。便利なインターネットをみはす
るより、そのインターネットをどういうふう
に使うのかをかんがえるべきだと思ひます。